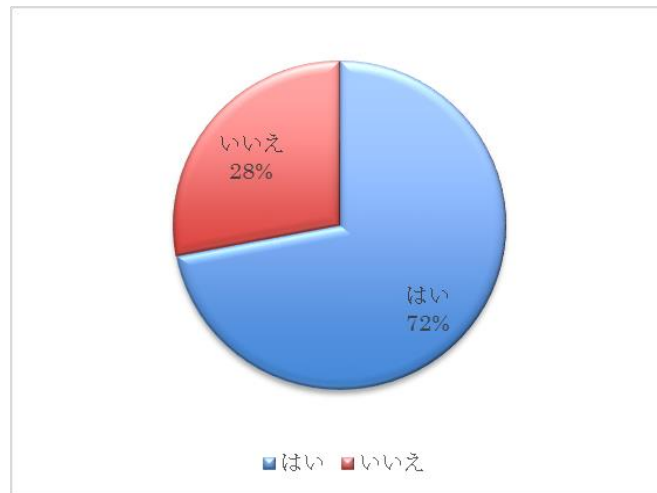


フェニックスまつり2014 メンバーアンケート

Q1:長岡市民と共に10年を振り返り、改めて郷土長岡について考えられましたか？

はい 72%

いいえ 28%



「はい」答えられた理由をお聞かせください。

- ・アリーナファイルステージにて市民と共に10年を振り返ることができた。
- ・フェニックスまつりで開催された様々なセクションを通じて様々な年齢層に対して、防災・減災意識の向上や、10年を振り返るきっかけとなったと思うから。
- ・メンバー同士で各ファンクションを担当したことで考えることができました。
あれから10年、これからは経験と教訓から学んだ繋がりと絆を胸に活動していこうという気になりました。
- ・初めてアオーレにきた・初めて長岡で行われているイベントに参加したなど名所アオーレを知っていただくというところが、郷土長岡について考えられた部分と思われる。
- ・10年を振り返る事で長岡市の発展が見えてきてこれから私たちは後世に何を伝え何を残していくのかを考えさせられました。
- ・この10年間、長岡というまちが震災からどのようにして復興していったのか、その復興は長岡市民の努力のたまものであったといえるから
- ・ライフラインや行政、各自治体のインタビュー映像を編集し、事前の災害対策ができていたからこそ、被害を食い止められたこと、そして発災時の総力対応、また災害後の反省点を踏まえた次の一手が打たれていることなどをしり、災害に強い長岡があることを知ったため。
- ・あっという間の10年でしたが、JCに入会してから地域、郷土を考えるようになりました。
- ・多くの方に来場いただいたことが一つの関心の結果であり、そこに関わることで一人一人が「長岡が好きなんだな」というのは伝わりました。
- ・元々そういう事業だったので
- ・地震から早くも10年が経ちましたが、その間、フェニックス花火やこうしたイベントを通じて、長岡市民の一体感が地震前よりも強まった気がします。自分も市民意識が強まり、長岡市民としての誇りが生まれました。
- ・長岡は地震の教訓や経験をしっかりと活かし、確実に長岡は全国に誇れる都市であると感じます。フェニックスまつりが、長岡まつりのように定着してほしいと思いました。
- ・市民参加が多く共に10年の歴史を振り返られたと思います。
- ・郷土長岡を愛せるようになったと思います。
- ・ダンスイベントを見て、山古志の結束を感じることができました。
- ・市民の一体感を感じました。

・フィナーレなど市民と一体に共に時間を共有でき、長岡のすごさ、郷土長岡を発展させていた気持ちになりました。
・復興牛の味わいに歴史の長岡の重みを感じました。
・事業の規模も大きかっただけに沢山の市民が参加できたことで、復興10年を記念するのにふさわしい事業だと思いました。
・他の団体の方からも声をかけられ、「共にこれからも長岡の為に頑張ろう」と言われ、長岡が一生懸命復興してきた実感を感じました。
・ダンスチームのナカドマからアリーナへの集団移動は忘れられません。これが10年で築き上げてきた市民協働だと感じました。
・映像を数分でしたが拝見しました。郷土を愛することは必要だし、自分も好きなんだという自分がいると感じました。
・考えられた良い機会だったと思います。
・家族を大事にすることが、長岡のこれからを良くすると思います。
・10年は僕にとって、非常に変化した10年であり、振り返られたことはとてもプラスでした。地元を良くすることが、これからの長岡の発展に繋がると感じました。
・長岡が合併して、とても飛躍した都市だと思います。もっと周りの旧市町村を巻き込めば、より強固な長岡が出来ると感じました。
・長岡を考えるには、市民団体とのコラボがこれから大事になってくると思います。
・ジュピターが長岡にとって、10年を振り返られた歌でした。震災は長岡にとって一つの歴史であり、11年目以降も支えられる歌が必要です。
・繋がりの大切さを感じました。
・最後の合唱団の歌が郷土長岡でいうと、全部集約されていたように思いました。
・佐田理事長のど真ん中のという意味が長岡の成長に繋がることがわかったような気がします。
・初めて大きなイベントに参加しました。大変でしたが、市民と改めて10年について話が出来たことは、大きな収穫でした。
・10年は振り返れば、早かったです。あまり長岡については考えたことはなかったのですが、良い機会でした。
・フェニックス花火は改めて長岡の宝だと思いました。
・当日の設営の中で市民と触れ合い10年間を振り返る機会があったため。
・市民と触れ合うことが出来て郷土長岡の事を考えることに繋がった。
・お越しいただいた方々の明るい笑顔を見たら震災から10年たったいま復興できたんだなと実感できたから。
・市民と触れ合うこと自体が郷土長岡について考えることに繋がる。
・設営ブースを通じて市民の防災意識を知ることが出来ました。
・市民と触れ合うことで喜びを缶に居られたから。
・郷土長岡について考える事業だったから。
・子供達の笑顔を見ると改めて郷土長岡の未来を明るいものにしていかなければいけない意識が高まる。
・直感で。
・10年を契機にこれまでにない規模の市民との事業を成功させたことが郷土長岡への意識向上へ繋がった。
・市民と触れ合うことで郷土長岡について考える機会になったから。
・皆様が長岡について真剣に考え発信されている姿を見て改めて長岡のことについて考えさせられました。
・自分が行っていた設営で考えればフェニックスまつりを通じてこの質問には正直答えにくいですが、ステージ等を見ていたら何か感じられたかもしれない。
・長岡でダンスとかいろいろやってる団体がありますね。意外でした
・復興10年を感じたから
・長岡の未来に向けて考えさせられました。
・今までの10年よりむしろこれからの10年について考える機会となりました。

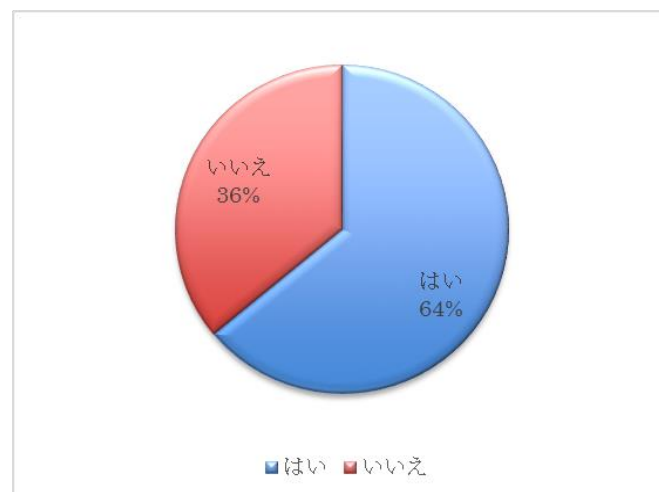
「いいえ」答えられた理由をお聞かせください。

・設営、運営に気持ちがいつてしまい、中身について「知る・考える」ことができなかった。田た、お祭り・・・
・個人的には振り返るきっかけとなりましたが、市民と共にというと、「いいえ」です。□
・市民と共にという感覚はありませんでした。□
・10年を振り返るという目的が市民に浸透していなかった□
・残念ながら、各ファンクション共、JCメンバーが設営する側で、一般参加者は偶々アオーレ長岡で行っているイベントに来場した方々という印象しかありませんでした。
・市民の方々が震災後10年の復興を意識して参加している感じはなかったし、それに対してメンバーが「震災で得た経験や教訓」を各ファンクションで伝えることができていませんでしたし、そもそもそのように各ファンクションが組み立てられていないように感じられました。
・長岡について考える余裕がないほど設営に気を取られました。また、市民の皆様は何をどう伝えればいいのか分らなかったです。
・牛の販売に張り付いた状態だったため
・当日は肉やアイスのことばかりで全体のことを見るができなかった。
・当日は、持ち場の役割をこなす事に精一杯で会場いただいた市民の方々と共に、10年を振り返り、改めて郷土長岡について考える機会もありませんでしたし、余裕もありませんでした。
・食べ物の販売をしていたが、郷土長岡に関する風景や会話が全く無かったので市民と共に考える事はひとつも無かった。
・肉の販売イベントの体験事業をしているようでした。
・画面の音が小さくて何を語っているかわからない状況でした。
・長岡復興10周年を特別に感じるに至りませんでした。
・販売での自分の役割で忙しかったです。
・設営に係れる時間が少なく、役割も駅前でのチラシ配りと会場内の雰囲気をも十分に感じるができず市民と共に振り返ることができなかったと感じています。
・荷物しか運んでません。□
・きわめて短時間の参加だったから。□
・ステージで考えれば、灯籠流しを担っている私達が震災で亡くなった方もいらっしゃるの、今回の様なイベントでアイドルはいらなかったのでは？
・何を市民の方に伝えたかったのかわからなかった。
・今までの10年よりむしろこれからの10年について考える機会となりました。
・メンバーはそれなりに考えていたと思うが『市民と共に』となると、串肉イベントで終わった気がする。

Q2:これからの長岡の未来を創造し、新たな一歩を踏み出せる人財へと成長できましたか？

はい 64%

いいえ 36%



「はい」答えられた理由をお聞かせください。

・入会の浅いメンバーと共に事業計画を作成し、実施までの行程を一緒に行いました。また、その行程の中で出会う人々から震災当時のお話を聞く機会があり、改めて長岡について深く考えさせて頂く機会となりました。
・あたらしく気づいたことがあり、それを行動で解決しました。まさしく成長できたと実感出来る全体事業でした。
・日頃の、まちづくり活動などで培ってきた部分も活動もできたと考えられるとともに、当日の参加で若干であれ、成長はできたのではないかと思います。
・まだわかりませんが、そういう人財になろうと思った事が成長出来た点になっているかもしれません。
・いかなる時も報告、連絡、相談が重要であり、自分に欠けていたことを改めて気付かされた。今後、日々の活動の中でも意識して取り組むことで有事の際にも対応できるよう努力が必要であり、実践していきたい。
・LOM全体事業というスケールでのメンバーの動きや、参加意識など構築段階を通して難しさを感じました。そして、当日はメンバーの対応力の高さ、マンパワーを改めて感じました。
・はい、成長していると思います。さまざまな事業を構築する中で自分自身が市民協働や地域の宝を勉強しています。
・確実に成長できたとします。震災から10年目という年にJCで活動し関わったことは成長できる一歩であり、我々JCが活動続けることで、改めて長岡の未来が切り開けると感じました。
・元々そういう意識でJCに入会したので
・成長できていると思います。
・多くの人と出会って自分の出来ることをやろうと思いました。
・とても良い経験となり、新たな一歩を踏み出せそうです。
・積極的に参加することができました。今後の活動にも生かすことができます。
・市民と一緒に一つのことをやり遂げることがJCに入って初めてでした。
・県外の方とお話し、長岡の底力を感じると言われ、長岡の為に、もっと何かをしたいと感じました。
・フィナーレの理事長の言葉が忘れられません。絶対新たな一歩を踏み出し、長岡の為、世の為に頑張ります。(世の為は言い過ぎですが)
・他の団体ともっと関わりたいと思いました。
・長岡の未来とは何なのか。気付かされた日でした。
・アオーレ誕生祭以来の全メンバーでの設営でしたが、確実に長岡の未来が飛躍できる人財が沢山いると感じました。
・JCこそが、未来を変えられる団体であると実感しています。
・なぜ一歩を踏み出すのか。この事業で学んだように感じます。
・子供たちの成長が未来を創り上げると思いました。もっと子供たちの為になにかできないかと考えています。
・初めてアオーレでのイベントに参加しました。市民協働であるアオーレから全国に発信が出来ると思いました。
・学会さんとお話をする中で、長岡は全国の中でも防災は先頭をきっている都市であると聞きました。知らない自分が少し恥ずかしかったです。
・自分を見つめ直せました。何かしたいです。
・長岡JCも事業で支援金が出ることは新たな一歩だと思います。こういうことが出来る事業がより必要だと思います。
・全体事業ということで、様々な人と接する良い機会でした。これから吸収できることが沢山ありそうです。
・多くの芸能人を呼べるんだなと思いました。
・何でも言えることですが、やり遂げることは、一歩を踏み出せることに繋がると思っています。未来を創造することは、自分の成長にも繋がると思いました。
・自分の嫁もイベントをやりたいと言っていました。
・人が多いほど、防災力はあると思いました。
・楽しいイベントは市民の皆さんは来場するとわかりました。今回の事業のように大きなイベントを続けることは必要だと思いました。

・多くの来場を見込める事業こそが次なる未来であり、関わる人は一步を踏み出せる成長の良い機会だと思います。
・自分自身どれだけ成長したのか楽しみです。
・一步を踏み出すことはできたと思います。
・本事業に参画した事で長岡の未来を創造し、新たな一步を踏みだせる人財に成長できたと思う。
・率先して長岡市民の笑顔を作ることが自分自身の成長に繋がったから。
・本事業を通して我々メンバーは市民のリーダーとしての意識を高められたと思う。
・かなりの実施内容の量だったが、少人数での役割分担でこなすことが出来たから。
・10年間の時間とおまつりでの活動が改めて長岡の未来を考えながら活動する意識の向上になりました。
・今回の事業をきっかけに新たな気持ちになり、それが第一歩になればと思う。
・新たな一步として、イベント受付に目覚め、スタンプ押しとアメの配布に目覚めました
・設営側で参加出来たから。
・次年度の参考になりました。
・長岡を盛り上げるイベント開催と言う意味では、勉強になったと思う。

「いいえ」答えられた理由をお聞かせください。

・新たな一步を踏み出せる人材には成長できませんでした。
・今回の事業単独で考えたら「いいえ」です。JAYCEEとして活動している中では成長できているのではないかと感じます。
・その成長は今すぐに分かるものではなく、あとから振り返ったときに実感できるものであると思うので、現時点では答えられない
・それは市民の皆様の判断というか、我々が判断するものではないと考えます。今回の事業で市民協働という感覚はあまりなく、自慰行為のような事業でした。委員会通しの連携が希薄で特別委員会の指示系統にも疑問を感じました。表面的な成功/失敗ではなく事業を作り上げる過程を今一度振り返る必要があります。参加いただいた諸団体からは「この事業の枠が空いているからでいただく」という無機質な関係しかできていない団体もあり(少年少女合唱団がそうです)とても今後につながる関係といういみでタッグを組めるか疑問です。JCの上から目線が治らない限り、市民に必要なされる団体にはなれないと考えます。
・事業の目的を体外に発信できず、ただの客寄せイベントだと感じた。□
・大変多くの来場者をメンバー同士のチームワークで乗り切れたのは、各メンバーやLOMの財産になると思います。しかしながら、事業背景から来る目的をほとんど達成できなかったように思います。市民に伝えるべき事柄をお伝えすることができなかった点について、目的と手法との間に齟齬はなかったのか等、よくよく原因を追究することで、今後の事業構築に備えることが、長岡JCメンバーの資質の更なる向上に繋がっていくと考えます。
・設営面では自分なりに一生懸命行っただが、そこまでの人財になったとは考えられません。
・成長したと実感できないため
・そこまでの人財としては自分はまだまだだと思います。精進していきます。
・映像等を当日見ることがなく、新たな一步を踏み出せる人財へと成長する機会を逃したと思う。
・フェニックスまつり2014を通じて新たな一步を踏み出すためのきっかけになったかと言えば正直わかりません。そうであって欲しいとは思いますが。
・今回の事業で、自己の成長を感じたことはありません。
・長岡JCとしてするような事業だったのでしょか。ただ長岡JCのマンパワーのすごさを感じらる事のできた事業だったとは思いますが...
・実際に今何をすれば良いかわからない自分がいる。
・まだまだこれから成長を続けたいので、満足するには早いです。
・未来を創造できる事業でなかったと思います。しかし、一步を踏み出せる良い機会だと思いました。
・忙しくて、わかりませんでした。
・ミュージカルに積極的に関わることが出来ませんでした。一步を踏み出せる自分を創り上げていきたいです。
・アオーレのイベントはいつも同じに感じます。成長できたとは思いません。
・市民との関わり方が全く成長していません。JCとして、市民との関わり方を、もっと勉強するべきだと思います。

・フェニックスまつりに多くの係りは持てなかったが、やったことは成長へとつながっていると思います。ただし、新たな一歩を踏み出せる人材への成長とまでは成長できていないと感じます。
・本年度集大成の意味での設営なので本事業で成長したわけではない。
・まだまだ自分には足りないことが多すぎるので今後時間をかけて成長していきたいです。□
・設営側でよくわかりません。それぞれの委員会の役割によって個人差があると思います。
・事業全体のテーマがわからなかった。
・そこまでの事業ではないと思う。